

美濃昭和 Jr 女子バスケットボールクラブ TO 講習会レポート

- 目 的 ①TO の役割の重要性を理解するとともに、正しい知識と技術を習得する。
②TO 主任にあたるコーチ、顧問等の指導者の役割を再確認し、TO 技術の向上を図る。
- 場 所 美濃市立藍見小学校体育館
- 対 象 美濃昭和 Jr 女子バスケットボールクラブ
- 内容・方法 ① (一社) 山口県バスケットボール協会 TO 委員会監修「テーブルオフィシャルズメカニクス」による講義研修
(1) TO クルー各担当の役割と任務
(2) ミスの起こりやすいポイントの解説
② U15 部会 TO 委員会「テーブルオフィシャルズレポート」による講義研修
(1) コミュニケーションの重要性
(2) TO クルー各担当の声掛け (例) の確認
③ 過去の公式戦の撮影動画による映像研修

【各担当の反省】

○タイマー

- ・第4クォーター最後の2分で得点したときのストップが少し遅いため、得点するたびにズレが天きくなり、映像と比較すると最後には数秒の遅れとなってしまった。
- ・ファウルの処理やフリースローの処理の際に、手を挙げるタイミングがバラバラだった。特にファウルの後は、スコアラー、ショットクロックの準備が万全なことを声で確認し手を挙げることに注意するとよい。

○ショットクロックオペレーター

- ・アウトオブバウンズの際に審判のシグナルを確認せず、リセットしてしまう場面があった。
- ・判断は間違っていないのに、残り秒数が少ないとブザーを鳴らすことを恐れてリセットしてしまうことがあった。
- ・フロントコート 14 秒リセットのルールを理解ができていなかった。

○スコアラー

- ・記入が遅いため、スコアシートを見ている時間が長く、プレイを見逃してしまうことがあった。
- ・プレイヤーの5ファウルを知らせることができず、プレイが始まってしまうことがあった。
審判のレポートの後、すぐに知らせる必要があった。

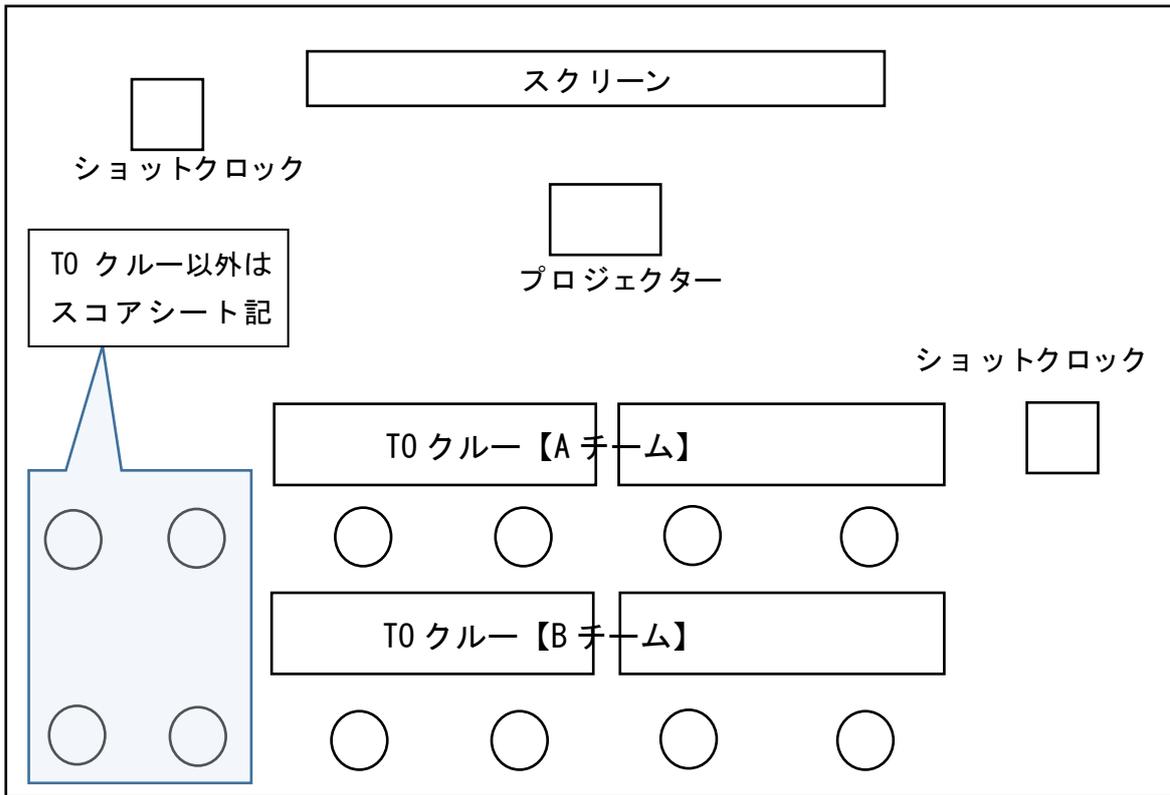
○アシスタントスコアラー

- ・得点プレイヤーの確認、ファウルの確認、プレイの実況を心掛けたが、1試合を通してみると、まだまだ全体を見ることができていないし、伝えきれていないことがあった。

【講習会全体の所感・反省】

- ・今回は、自チームで撮影した実際の試合動画（中体連県大会）で、サイド（TO 背中側）から TO テーブル、タイマー、ショットクロックが収まって撮影したものがあって、映像研修に使用してみることにした。
- ・TO 講習のために撮影したものでないため、審判のレポートやシグナル、プレイヤーの背番号などが分からないことが多々あった。また、ベンチが撮影されていないので、タイムアウトや交代のタイミングが分からない。
⇒TO 講習用に撮影している動画があれば問題は解決できることであるが、事前に指導者が映像を確認しスコアシートを作成するなどの準備をしておき、映像を見ながら実況することでフォローは可能。
⇒実際の試合と違い、ポイントの解説やミスがあったときには適宜止めることができるため、学習効果は高いと感じた。

【会場レイアウト】



【写真】



今回の講習は、美濃地区にある、美濃昭和Jr女子バスケットボールクラブさんに協力いただき、自チームの試合映像を素材として扱っていただきました。これは、多くのチームが実践可能な内容になっています。ミーティングをする機会と合わせて実施していただくことも可能です。

令和3年2月現在、岐阜県にも緊急事態宣言が発出されている状況です。「自粛や制限」のある中で、こういった研修が、選手たちの成長の助けになっていくとよいと、私たちは考えています。

厳しい時期が続きますが、共に知恵を出し合い、共に成長していきましょう。

T0委員会 清水 啓太

追伸

実践されてみたいと考えているチームで、お困りの方は、ぜひ、T0委員会までご連絡ください。所有するT0機材が十分でない場合についても、ご連絡いただければ、対応することが可能です。地区内で貸与することができるように、各チームの協力体制について、調査しています。